

福祉工学カフェ **テーマ募集**のお知らせ

～**ゲストMC制**による当事者参加型のミニシンポジウム～

① 福祉工学カフェって何をする所？

福祉工学カフェのねらいは、障害などで困っている当事者と、福祉に携わる人たち（医療従事者、エンジニア、行政関係者など）に、**工学技術の一端を知って頂き、実用的な福祉機器の開発を促進すること**にあります。そのためは、福祉機器の利用者側と開発者側が直接対話することが重要だと考えています。

福祉工学カフェ ホームページ

http://www.rehab.go.jp/ri/event/at_cafe2010/top.html

② 何で「福祉工学カフェ」？

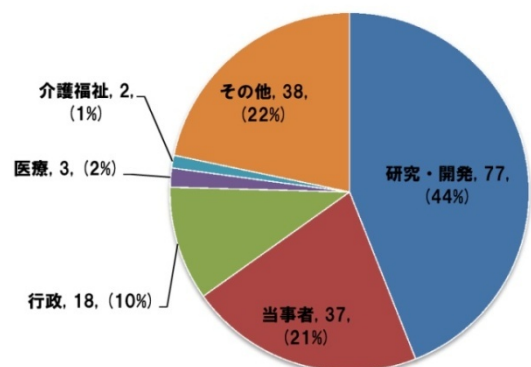
「当事者を交えてざっくばらんに会話しましょう」という思いがあり、当初会場に喫茶店を想定したこともあり、“カフェ”と名付けました。



③ これまでのテーマは？

これまでに下記のようなテーマでカフェを開催しており、図に示すような幅広い立場の方々が参加されました。

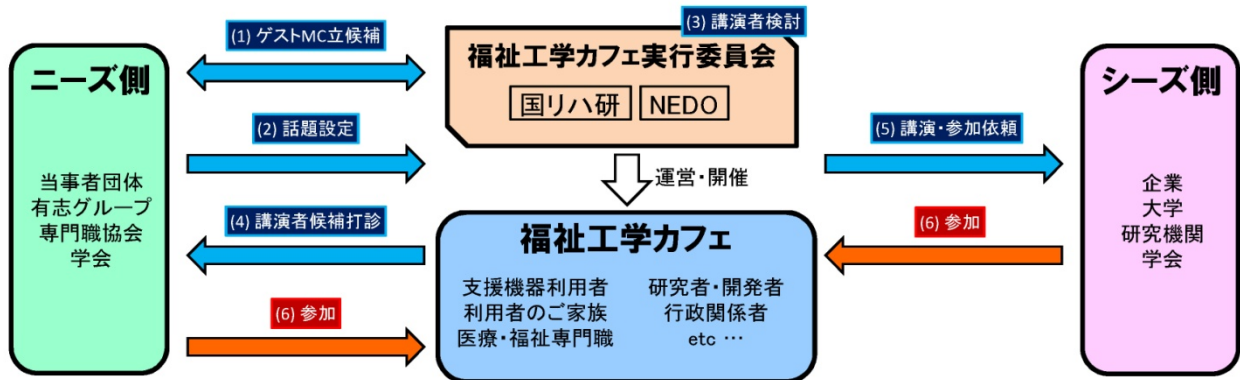
- 第1回 移動および機器操作関連
(2010.11.24 NEDO日比谷オフィス)
- 第2回 視覚障害者支援関連
(2010.12.27 日本盲人福祉センター)
- 第3回 聴覚障害者支援関連
(2011.1.27 NEDO日比谷オフィス)
- 第4回 先端技術の福祉応用
～当事者関与の重要性と困難さ～
(2011.6.24 NEDO日比谷オフィス)
- 第5回 震災と福祉機器
(2011.10.3 日本盲人福祉センター)



数字は人数

④ ゲストMCになってみませんか？

福祉工学カフェでは、参加者がゲストMCとして議事進行役に立候補することができます。「こういうことに困っている」「こんなことできないかな？」など、身近な問題を福祉工学カフェのテーマにしてみませんか？



■ ゲストMC立候補の具体的な流れ

- 1) ゲストMCに立候補：
実行委員会へ提案したいテーマについてご連絡下さい。カフェの趣旨に則して、採用のご連絡を致します。
- 2) 話題設定： 具体的な討論内容を実行委員会と相談しながら設定します。
- 3) 講演者検討： ゲストMCと協議の上、実行委員会が講演者候補を選定します。
- 4) 講演者候補打診：
実行委員会からゲストMCに講演候補者を打診し、ゲストMCに確認・承認して頂きます。
- 5) 講演・参加依頼： 講演候補者へ実行委員会から講演を依頼します。
- 6) 参加： ゲストMCはカフェ当日にテーマ説明と議事進行を行います。

⑤ 誰が主催してるの？

国立障害者リハビリテーションセンター研究所は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）との共催で、福祉工学カフェを開催しています。

問い合わせ先 国立障害者リハビリテーションセンター 研究所（担当：硯川）

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL 04-2995-3100 内線7287, FAX 02-2995-3132, E-mail: ATcafe@rehab.go.jp

福祉工学カフェ実行委員（50音順）

井上剛伸：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長

内海沙世子：同・障害工学研究部 流動研究員

小野栄一（発起人）：同・障害工学研究部長

柴田芳幸：同・義肢装具技術研究部 流動研究員

硯川 潤：同・福祉機器開発部 研究員

森 郁恵：厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課

自立支援振興室 福祉工学専門官

